

平成31年 3月19日

潮来市長 原 浩道 様

潮来市総合計画審議会
会長 大澤 義明

潮来市第7次総合計画の策定について（答申）

平成29年11月16日付け「潮来市第7次総合計画の策定について（諮問）」について、潮来市総合計画審議会規則第1条第2項の規定に基づき、下記のとおり答申します。

なお、本計画で示す将来像「暮らしをゆしみ市民が活躍する 水の郷」を目指し、下記事項に留意願います。

記

- 1 市民協働 潮来市第7次総合計画は、潮来市まちづくり委員会をはじめ、市民アンケートやインタビュー、パブリックコメントなどを通して得た、多数の市民等からの意見を反映したものである。市民と行政が一体となる市民協働のまちづくりを今後も継承し、さらに深化させること。
- 2 進捗管理 人口減少と高齢化の中で潮来市第7次総合計画を進めるには、能動的、自主的、そして横断的に事業に取り組む必要がある。そのためにも、各種評価技術手法を用いた進捗管理のモニタリング体制を構築し、PDCAサイクルの着実な履行を行うこと。
- 3 持続可能性 自然災害の多発や人工知能の進展など社会変化のスピードは速い。この変化を迅速に読み取り政策の重点化を柔軟にかつ適切に行い、健全な行政経営を維持すること。